スルガ銀行　presents ジャパン・マウテンバイク・カップ 2026
ファンライドイベント大会特別規則

ジャパン・マウンテンバイク・カップファンライドイベント（スルガ銀行 90 分耐久レース（クロスカントリ）及びスルガ銀行キッズチャレンジ）の実施にあたっては、当規則に基づいて実施する。

１　競技実施

（１）参加資格

ア　スルガ銀行 90 分耐久レース（クロスカントリ）

以下の全ての資格を満たす者とする。

- 13 歳以上（2013 年 12 月 31 日以前に生まれたもの）
- 公益財団法人日本自転車競技連盟登録者及び臨時登録者に限る。

イ　スルガ銀行キッズチャレンジ

2014 年１月１日生まれから 2019 年４月１日生まれまで

上記を偽り、不正にレースに出場した場合は失格とする。また表彰終了後に発覚した場合は、表彰の全てを取消し、返却を求める。

（２）携行品の制限

以下の物を携行することを禁止する。

- ガラス容器
- その他競技をする上で不要なもの

（３）飲食物の携行と補給

- 競技者は競技中に携行した飲食物を飲食することは出来るが、アルコール類、興奮剤等の薬品を用いることは出来ない。

（４）機材

- コース上で自転車が故障した場合は自力で修理して競技を続行出来る。また競技者間でポンプやタイヤチューブ、工具の貸し借りは認める。
- 競技参加には事前に安全点検・車両整備を行っている自転車のみ競技に使用できる。レース走行に必要な性能を備えていない自転車や車両規定に違反している自転車は、競技に使用することは出来ない。

（５）ヘルメット

（公財）日本自転車競技連盟公認または下記規格のヘルメットを必ず着用すること。

- ＳＧ規格
- ＣＥ　ＥＮ1078 規格

- ＣＰＳＣ規格
- ＡＳＴM規格
- ＷＧ１１規格
- ＧＳ規格

（6）ヘルメット、ウェア、ナンバーの装着規定

- 競技者は、競技を行う際に、ボディナンバー装着するとともに、ハンドルナンバーを付けること。
- サイクリング用シューズ、あるいは競技に適したスポーツシューズを使用し、体を保護できるサイクルウェア（あるいは競技に適したスポーツ用ウェア）と手袋を装着すること。
- 転倒による怪我が心配な競技者はプロテクターの装着を推奨する。

（7）競技の続行

- なんらかの理由で下車した競技者は、他人の援助を受けることなく、自転車を担ぎ、あるいは押して競技を続行することができる。

（8）競技の中止

- 競技中、競技役員および医師から競技の中止を命ぜられた場合、 選手はその指示に従い直ちに中止すること。
- 天候の急変や重大事故などの発生で、競技の続行が不可能と競技役員が判断した場合、競技中止の宣言がされる。競技中に「競技の中止」が決定された時は、その時点の先頭のフィニッシュライン通過周回数で順位を決定する。

（9）競技中のトラブル

- コースマーシャルがイエローフラッグを振るのを見た競技者は直ちに減速すること。

(10) 判定

- 着順に関する意義の申し立ては受け付けない。

(11) コース試走

- レース前に必ずコース試走を行うこと。

２　スルガ銀行 90 分耐久レース（クロスカントリ）競技規則

（１）集合

・　競技スタート 10 分前までに決められた場所に集合すること。
・　スタートでの並び順は、先着順とする。
・　ライダーズミーティングは、スタート地点で行う。

（２）スタート

・　各カテゴリーともスタートラインからの一斉スタートとする。

（３）着順判定

・　競技は決められた時間を経過した後に初めてフィニッシュラインを通過した時点で競技を終了する。走行した周回数より順位を決定する。

（４）競技規則

・　チーム用計測チップを必ず足首に巻きつけてスタートすること。
・　ピットエリアでの接触事故には十分に気をつけること。
・　応援・観戦は待機エリア内から出ないようにすること。
・　選手交代は必ず待機エリア内で行うこと。
・　ピット内の走行エリアで進路変更をする場合は後方の安全を確認すること。
・　選手交替エリア以外での走者交替は認められない。
・　コースおよびピットロード上での第三者によるチーム用計測チップの受渡しは認めない。走者はピットエリア内で必ず停止してから次走者に直接手渡すこと。競技役員の警告を無視して違反を繰り返したチームはペナルティーを科す。
・　一人の競技者が連続して複数の周回を走ることは可能
・　チームメイト間の自転車の貸し借りは認める。
・　規定時間が経過する５分前にピットロード入口を閉鎖する。閉鎖までにピットロードに入った選手は選手交代が出来る。
・　スタートして規定時間が経過した時点で新しい周回に入ることは出来ない。競技状況から判断して、終了時間は競技審判長が決定する場合がある。
・　トラブルでコースのショートカットを希望する選手は近くのコースマーシャルまたは競技役員に伝え、許可を得ることでペナルティ（－１ＬＡＰ）のうえ、ピットに戻ることが出来る。

（５）ピットエリアについて

・　ピットエリアでの飲食物を補給することは認めるが、アルコール類、興奮剤等の薬品を用いることはできない。
・　規定時間が経過する 5 分前にピットロード入口を閉鎖する。

（６）車両について

ア　車両について

・　レースに使用する自転車は、マウンテンバイクのみとし、E-マウンテンバイク（電動アシスト付きマウンバイク）は認めない。
・　フリーホイール式の自転車で、正常に作動するブレーキが２つ装着されていること。
・　ハンドルバーおよびステムは危険性の無い形状で、 その先端はキャップなどでしっかり塞がれていること。
・　レース走行に耐えうる自転車で、事前に十分整備されていること。

イ　マウテンバイクのハンドル形状について

・　本大会の参加車両は、ハンドルがフラットバーハンドルのみ使用可。ドロップハンドル、ブルホーンバー等では出走できない。

３　スルガ銀行キッズチャレンジ競技規則

（１）集合

・　競技スタート 10 分前までに決められた場所に集合すること。
・　スタートでの並び順については、ボディナンバー順にスタート地点に整列する。
・　ライダーズミーティングはスタート地点で行う。

（２）スタート

・　各カテゴリーともスタートラインからの一斉スタートとする。

（３）着順判定

・　競技は定められたコースの周回を重ね、初めてフィニッシュラインを通過した時点で競技を終了します。走行した周回数およびゴール着順により順位を決定する。

（４）ピットエリアについて

・　ピットエリアでの飲食物を補給することは認めるが、アルコール類、興奮剤等の薬品を用いることはできない。
・　規定時間が経過する 5 分前にピットロード入口を閉鎖する。

（５）車両について

ア　車両について

・　レースに使用する自転車は、マウンテンバイクのみとする。E-マウンテンバイク（電動アシスト付きマウンバイク）は認めない。
・　フリーホイール式の自転車で、正常に作動するブレーキが２つ装着されていること。
・　ハンドルバーおよびステムは危険性の無い形状で、 その先端はキャップなどでしっかり塞がれていること。
・　レース走行に耐えうる自転車で、事前に十分整備されていること。

イ　マウテンバイクのハンドル形状について

・　本大会の参加車両は、ハンドルがフラットバーハンドルのみ使用可。ドロップハンドル、ブルホーンバー等では出走できない。